

# アルミニウム製庇

(エバーアートボードバイザー)

## 施工要領

この度は、タカショーエバーアートボードバイザーをご採用いただき、ありがとうございます。  
確実な施工を行い、製品の安全を確保するため、施工前にこの「施工要領」を必ずお読みください。

### — 目 次 —

施工上の注意点	_____	1
部材名称	_____	2
アンカー取付要領	_____	2
施工手順（庇が1枚物の場合）	_____	3
施工手順（庇が複数枚割の場合）	_____	4

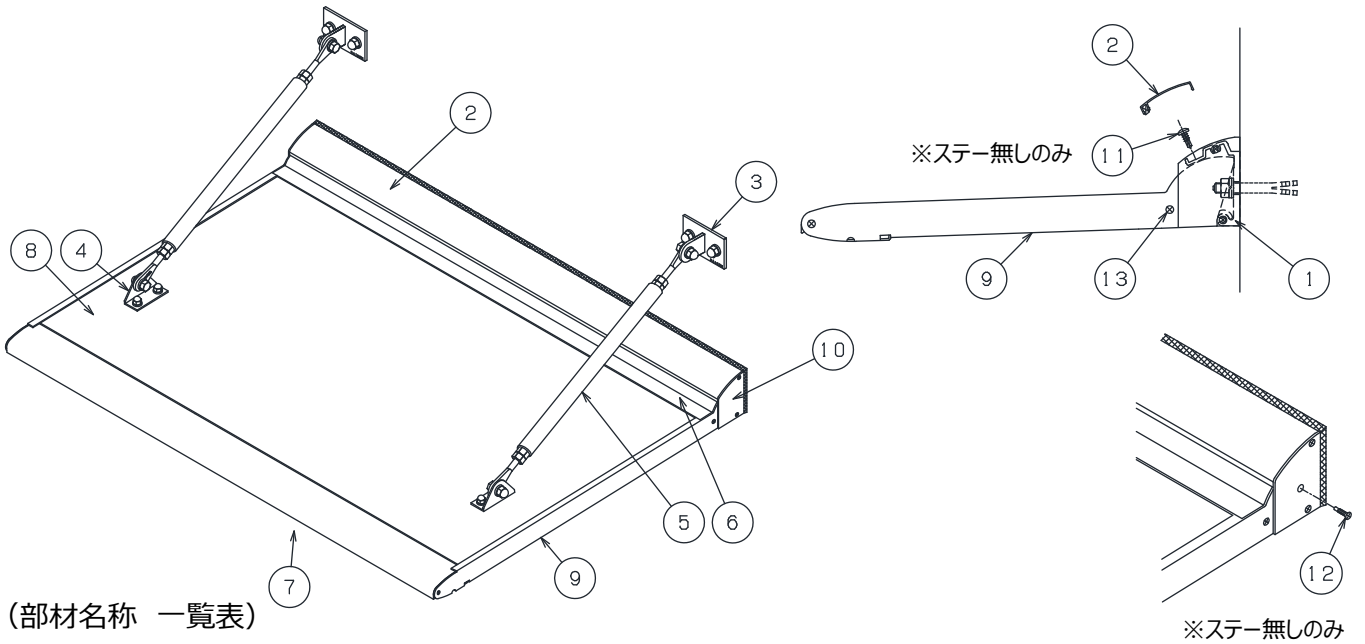
### 施工上の注意点

- 転落や破損の恐れがありますので、庇に乗ったりぶらさがったりしないでください。
- ねじやボルトは全て確実に締めてください。
- 施工後、ねじやボルトにゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所等がないか確認してください。
- 庇の角度は指定角度範囲内で使用してください。
- 正規の施工方法以外での取付けや、改造等は行わないでください。

※ 改良のため、予告なく製品の一部を変更する場合があります。御了承ください。

### ご用意ください

- ・アンカー（RC：金属アンカーM8 木造：M8×90 サイディング：壁面内補強プレート、スタッドボルトM8）
- ・シール材（市販の止水用シール材）
- ・シール用バックアップ材（壁取合部□-10mm×5mmのり付き、庇ジョイント部□-20mm×5mmのり付き）



(部材名称 一覧表)

※ステー無しのみ

番号	部材名称	備考
①	壁軸材	
②	壁軸カバー材	
③	固定用ステー取付ブラケット (壁側)	横型 ※ステー付きのみ
④	固定用ステー取付ブラケット (庇本体側)	※ステー付きのみ
⑤	固定用ステー	※ステー付きのみ
⑥	パネル軸材	
⑦	先端見切材	F型 (樋無し R型)
⑧	庇本体	
⑨	庇本体小口蓋	
⑩	壁軸材小口蓋	壁軸材に取付け済
⑪	庇本体固定ねじ①	十字穴付きなべドリルねじ φ5×16 ※ステー無しのみ
⑫	庇本体固定ねじ②	十字穴付き皿ドリルねじ φ4×13 ※ステー無しのみ
⑬	庇本体小口蓋 取付ねじ	十字穴付き皿タッピンねじ φ4×16 2種ガイド付き

## ■ アンカー取付要領

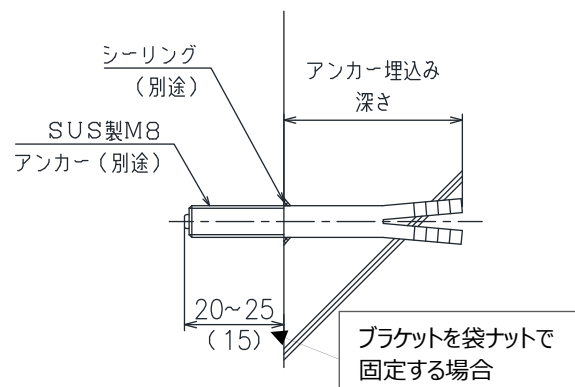
アンカーは右図のように取付面から **20~25 mm** 突き出すようにしてください。

(※ブラケットを袋ナットで固定する場合は 15 mm)

※アンカーの埋込み深さは使用するアンカーの規定寸法を守って取付けてください。

※内部への浸水防止のためにアンカーの周りに防水シール (別途) を施してください。

※あと施工アンカーによる施工は RC 躯体のみです。



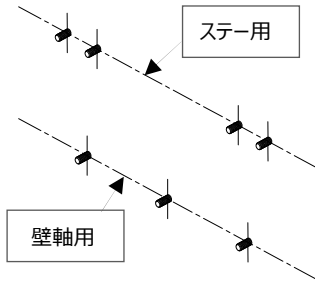
※アンカー取付位置については、別紙図面にてご確認ください。

## ■ 施工手順（庇が1枚物の場合）

1

アンカー図に基づき墨出しを行いアンカー（M8・別途）を取付けます。

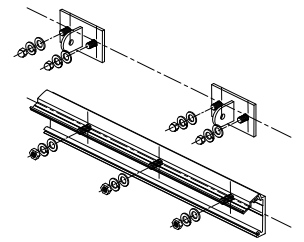
（用意するもの）  
M8 アンカー（別途）



2

壁面の出入りを調整して壁軸材・固定用ステー取付ブラケットを取付け、アンカーを締付けます。  
※水勾配を適正に確保しないと水漏れの原因になります。

（用意するもの）壁軸材、  
固定用ステー取付ブラケット

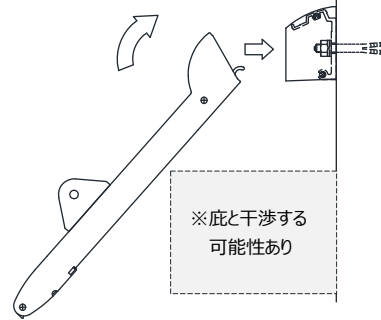


3

右図のように、庇本体を壁軸材に差込み、上方向へ回転させます。

※庇下部に物があると庇と干渉する可能性があります。  
先に庇を取付けてください。

（用意するもの）庇本体



4-1（ステー付きの場合）

固定用ステーを取り付けます。  
別紙「追加 施工要領／固定用ステー」を参照し取付けてください。  
※庇本体の角度の標準設定は 88°になります。

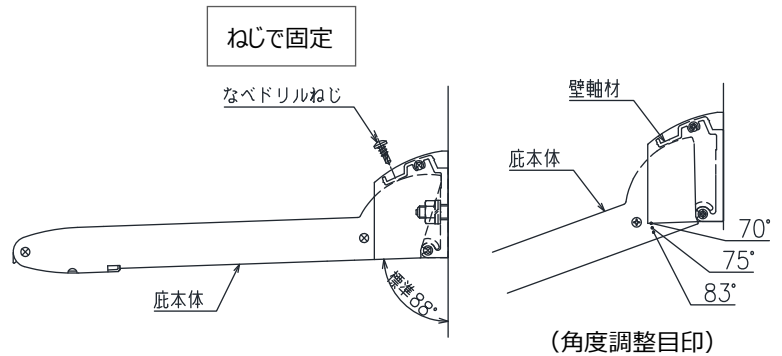
（用意するもの）固定用ステー

4-2（ステー無しの場合）

庇本体を任意の角度（70～88°）に設置し、付属のなべドリルねじで固定します。

※庇本体の角度の調整範囲は 70～88°です。  
標準設定は 88°になります。角度調整時には右図の目印を目安に取付けてください。

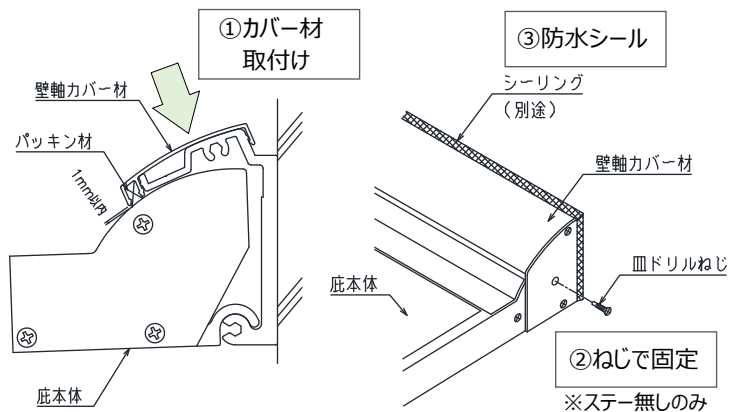
（用意するもの）庇本体、なべドリルねじ



5

- ①壁軸カバー材を取付けます。
- ②ステー無しの場合は、壁軸材小口蓋に付属の皿ドリルねじを取付けます。
- ③壁軸材上部・端部に防水シール（別途）を施します。

（用意するもの）壁軸カバー材、皿ドリルねじ



注 意

庇本体が複数枚割の場合は、壁軸カバー材を取付ける前に庇本体の目地に防水シールを施します。詳しくは次頁「**庇本体が複数枚割になる場合**」を参照してください。



注 意

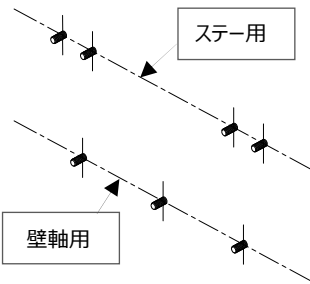
壁軸カバー材はパッキン材を先端側にして嵌合し、庇本体との隙間が 1 mm 以内になっているか確認してください。正しく嵌合されていないと水漏れの原因になります。

## ■ 施工手順（庇が複数枚割の場合）

1

アンカー図に基づき墨出しを行いアンカー（M8・別途）を取付けます。

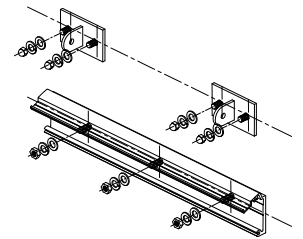
（用意するもの）  
M8 アンカー（別途）



2

壁面の出入りを調整して壁軸材・固定用ステー取付ブラケットを取付け、アンカーを締付けます。  
※水勾配を適正に確保しないと水漏れの原因になります。

（用意するもの）壁軸材、  
固定用ステー取付ブラケット



3

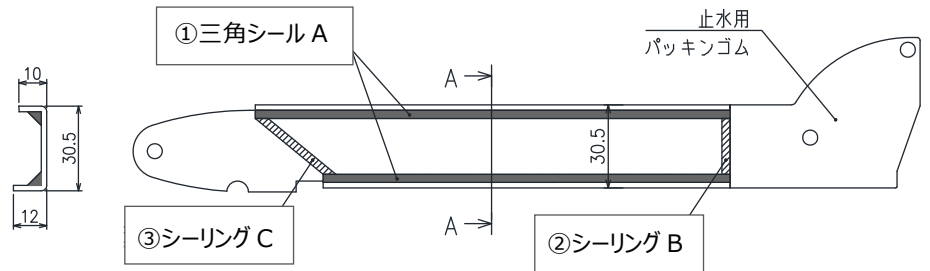
付属の庇本体小口蓋に防水シールを施します。

①右図のように小口蓋内側の隅角部に三角シール A を施します。

②止水用パッキンゴムの端部にシーリング B を施します。

③先端側にシーリング C を施します。

（用意するもの）庇本体小口蓋



【 A-A 断面図 】

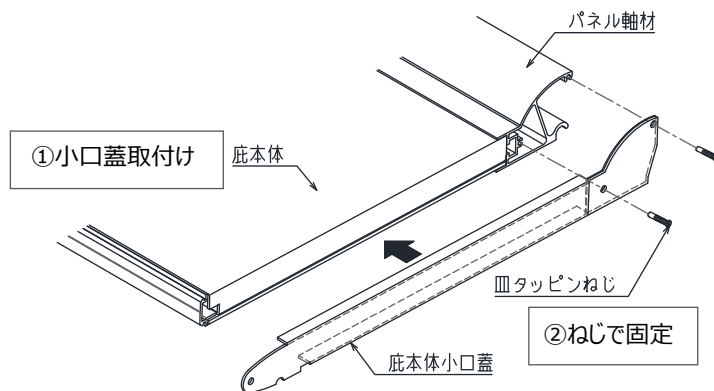
4

①両端の庇の右・左端部に庇本体小口蓋を取付けます。

②付属の皿タップピンねじで庇本体と固定します。

※防水シール後は速やかに取付けを行ってください。

（用意するもの）  
庇本体小口蓋（シール付き）

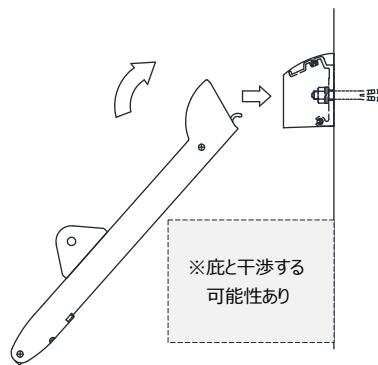


5

右図のように、庇本体を壁軸材に差込み、上方向へ回転させます。

※庇下部に物があると庇と干渉する可能性があります。  
先に庇を取付けてください。

（用意するもの）庇本体



6-1（ステー付きの場合）

固定用ステーを取り付けます。

別紙「追加 施工要領／固定用ステー」を参照し取付けてください。

※庇本体の角度の標準設定は 88°になります。

（用意するもの）固定用ステー

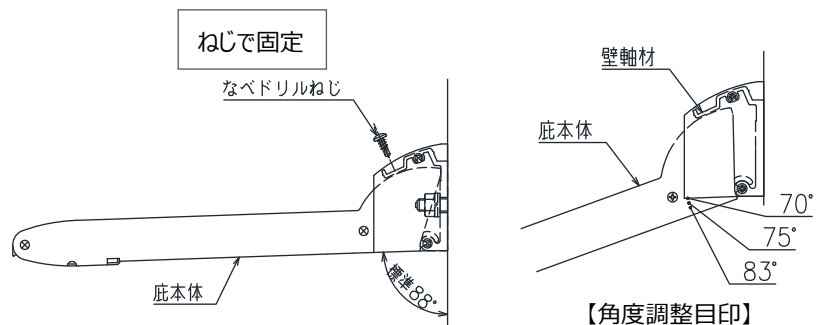
6-2（ステー無しの場合）

庇本体を任意の角度（70～88°）に設置し、付属のなべドリルねじで固定します。

※庇本体の目地にねじ穴がくる場合は位置をずらして固定してください。

※庇本体の角度の調整範囲は 70～88°です。  
標準設定は 88°になります。角度調整時には右図の目印を目安に取付けてください。

（用意するもの）庇本体、なべドリルねじ



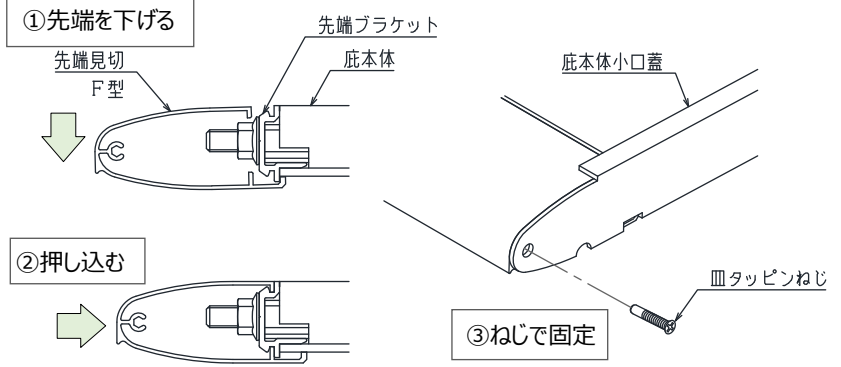
# 7

先端見切材を取付けます。

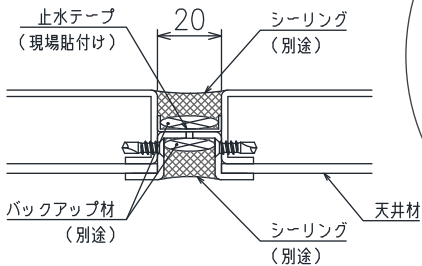
底本体を取付けた後、右図のように先端を①少し下げてから②先端ブラケットにパチンと音がするまで押し込んでください。

③手順4で取付けた小口蓋と、付属の皿タッピンねじで固定します。

(用意するもの) 先端見切材、皿タッピンねじ



## ①止水テープ貼付け



【あ-あ断面詳細図】



**警告**

**底本体間の防水シールは、必ず壁軸カバー材を取付ける前に行ってください。**シールが不十分ですと水漏れの原因になります。

# 8

①底本体間に 20 mm の隙間目地を設け、付属の止水テープを貼り付けます。(上図【あ-あ断面詳細図】参照)

②防水シールを施してください。この時、防水シールは壁軸材の奥まで充填してください。(上図【拡大図】参照)

(用意するもの) 止水テープ

# 9

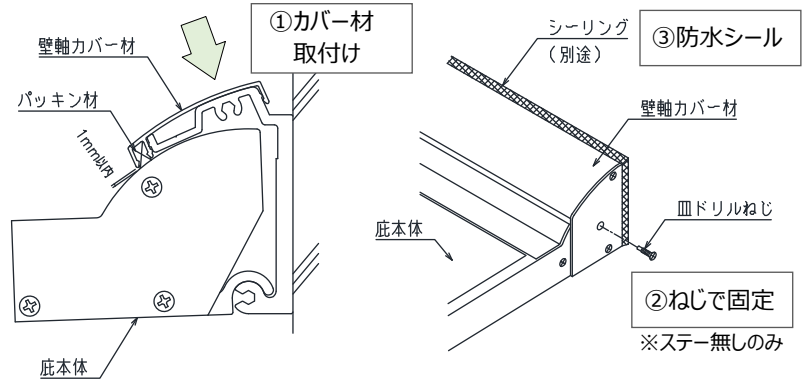
①壁軸カバー材を取付けます。

②ステー無しの場合は、壁軸材小口蓋に付属の皿ドリルねじを取付けます。

③壁軸材上部・端部に防水シール (別途) を施します。

(用意するもの)

壁軸カバー材、皿ドリルねじ

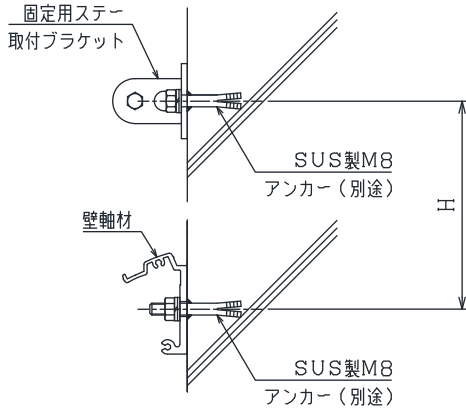


**注意**

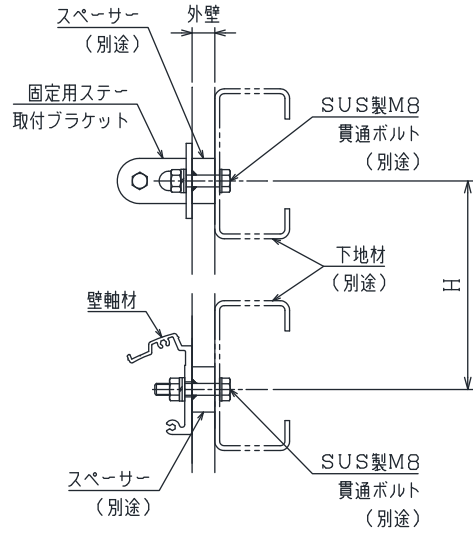
壁軸カバー材はパッキン材を先端側にして嵌合し、底本体との隙間が 1 mm 以内になっているか確認してください。正しく嵌合されていないと水漏れの原因になります。

壁際納まり参考図

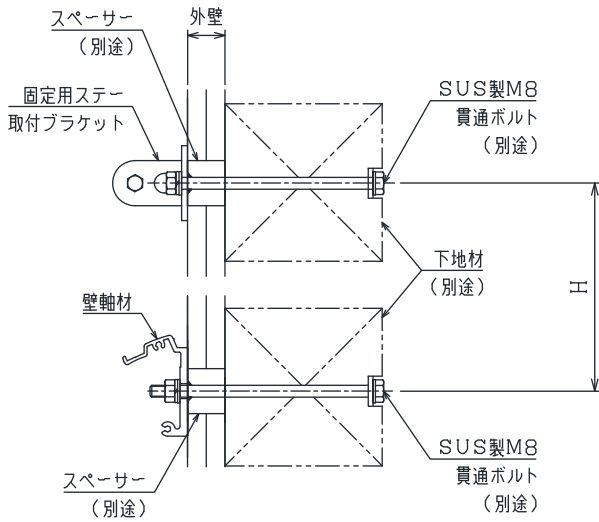
※施工の際は必ず現場条件に合わせた十分な強度を確保した下地材・アンカーをご使用ください



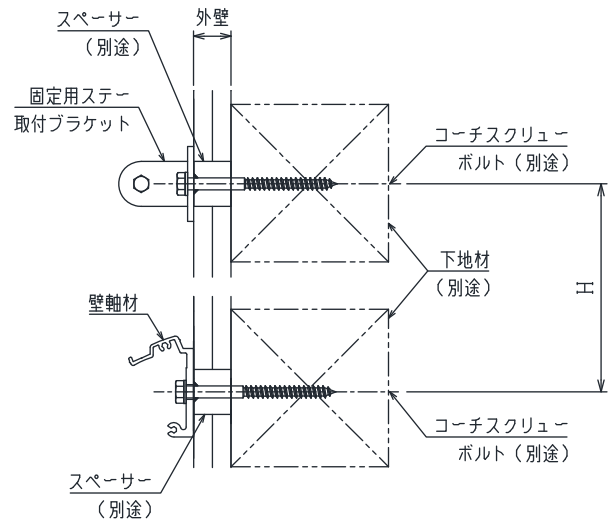
コンクリート下地に取付ける場合



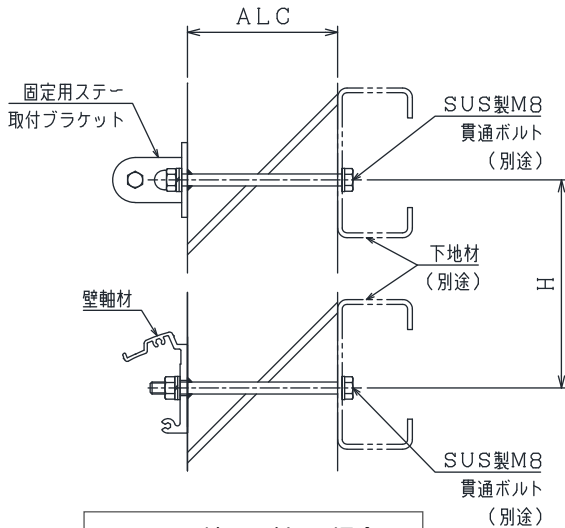
鉄骨下地に取付ける場合



木下地に取付ける場合 (貫通ボルト)



木下地に取付ける場合 (コーチスクリューボルト)



ALC下地に取付ける場合

■ H の値

庇出幅 D (mm)	H (mm)
1000 以下	222
1000 超え	400

お客様サービスセンター 通話料無料 0120-51-4128 受付時間/月～金 AM9:00～PM5:00 (祝日は除く)

株式会社タカショー

本社 / 〒642-0017 和歌山県海南市南赤坂 20-1 TEL. 073-482-4128 (代) FAX. 073-486-2560 (代)

